

## こんな子どもたちの姿が生まれました！

- マーカーペン等を使うことで、既習内容と関連付けて振り返りシートを作ることができました。
- 仲間のノートを自由に閲覧することで、自分の考えをより確かに行うことができました。

## Metamoji を活用したデータ管理による効果

単元を通して1枚のシートに振り返りを記入させ、毎時間、導入場面でこれまでの流れを確認し、終末場面にこれまでと比較した振り返りをさせる。

- ・既習内容を参考にして、本時の課題解決の見通しをもつ。
- ・既習内容と比較して、マーカーペン等を使って、色分けや印などを付けて統合的に考察する。



## 教師の指導のポイント

- 振り返りをもとに見通しがもてるように、代表的なノートを電子黒板等で提示する。
- これまでの振り返り内容と比較して、「似ているところはないか」などと統合的に考察するように問いかける。また、「他の場合はどうなるだろうか」などと発展的に考察するような問いかけもする。

## Metamoji の「生徒同士で見られる」モードを活用した効果



個人追究がある程度進んだ段階から「生徒同士で見られる」モードに設定を変更し、子ども自身が仲間のシートを自由に閲覧できるようにする。仲間のシートから参考になることや似ているところを自分のシートに書き込ませる。

- ・仲間のシートを見て、仲間の考え（表現）を解釈する。
- ・数人の仲間のシートを見て、共通点や相違点を明らかにする。
- ・自分の考えに足りなかったことや付け加えたいことを自分のシートに書き込む。

## 教師の指導のポイント

- 授業の最初から閲覧できるように設定するのではなく、子どもたちが求めたり、考えを比較させたりする必然が生じたときなど、意図的に閲覧可能にする。
- 閲覧可能にした際には、多くのシートが閲覧できるため、「同じ式はあるか」「〇〇というキーワードがあるか」など、考えを比べる視点を具体的に提示する。